

総合型地域スポーツクラブへの移行について

1 総合型地域スポーツクラブ

文部科学省は、平成7年から地域住民の自主的な運営により地域コミュニティの役割を担う「総合型地域スポーツクラブ（以下「総合型クラブ」という。）」の活動を推進しています。

総合型クラブは、人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、（1）子どもから高齢者まで（多世代）、（2）様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、（3）初心者から中級者まで、それぞれの志向やレベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持っています。これは内輪で楽しむ「私益」ではなく、地域住民に開かれた「公益」を目指して運営する非営利的な組織であることから、総合型クラブは次のような基本認識のもとに活動していくことになります。

- ① 地域住民による自主的な運営
- ② 自主財源を主とする運営
- ③ クラブ理念の共有

2 横浜市の状況

横浜市では、平成18年に横浜市スポーツ振興基本計画を策定し、市内18区全てに総合型クラブの創設を目指していて、現在、13区21クラブ（H24.3月現在）が活動しています。

また、平成22年度から泉区内の小学校にも学校開放予約管理システムが導入され、体育館や校庭の施設利用や体育館等の夜間照明料（電気料）の課金・徴収などについて、総合型クラブなどの地域住民による自主運営団体等が管理しています。

3 NPO葛野スポーツクラブ

葛野小学校では、学校開放事業を中心に地域と協力しながら施設管理を行い、平成22年10月にはNPO葛野スポーツクラブ（設立準備団体）を立ち上げて自主運営を行っています。平成24年度からは、より地域に根付いたスポーツ活動を支えるために、以下の8つの理念に基づき、「総合型地域スポーツクラブ」の一員として活動していきます。

- （1）学校体育と社会体育を相互補完するために、葛野小学校区のスポーツ振興を図り、青少年の体力向上を目論む。
- （2）葛野小学校区におけるスポーツ環境を整備して、生涯スポーツを推進する。
- （3）スポーツを通じ、青少年から高齢者まで多世代の交流により、コミュニケーション社会の実現を図る。
- （4）学校行事や自治会町内会行事等とのスポーツコラボレーションに努め、豊かな街作りに寄与する。
- （5）横浜市スポーツ推進委員、青少年指導員等との連携によりボランティア活動、スポーツ・文化活動を活性化させる。
- （6）踊場地域ケアプラザ等の地域施設との連携によりクラブ事業の充実を図る。
- （7）青少年から高齢者まで幅広いスポーツ対象者に指導できる体制を構築するために、指導者向け講習会を実施し、指導技術の能力向上を図る。
- （8）クラブ運営に関わる人材を発掘・育成し、存続可能なスポーツ振興システムを構築する。